

① つぎの各文で、大日本帝国憲法に関係あるものにはA、日本国憲法に関係あるものにはBと答えよ。

- (1) 天皇は日本国と日本国民統合の象徴であり、その地位は国民の総意に基づく。
- (2) 天皇は主権者であり、統治権を総攬する。
- (3) 議会は衆議院と貴族院からなっているが、天皇の協賛機関である。
- (4) 臣民の権利は認められたが、法律の範囲内である。
- (5) 連合国軍総司令部が示した草案をもとにつくられた。
- (6) 裁判所は、天皇の名において司法権を行使する。
- (7) 内閣総理大臣は、国会の指名に基づき、天皇が任命する。
- (8) 国会は国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関である。
- (9) 統帥権は天皇がもつ。
- (10) 憲法の改正には、国民の投票が必要である。

② つぎの文は日本国憲法第9条の条文である。( )にあてはまる語句を下から選べ。

- ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際( 1 )を誠実に希求し、国権の発動たる( 2 )と、( 3 )による威嚇又は( 3 )の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを( 4 )する。
- ②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の( 5 )権はこれを認めない。

社会 平和 紛争 戦争 武力 戦力 放棄 保持 交戦 自衛

③ 日本国憲法が保証する基本的人権について、つぎの問いに答えよ。

- (1) 自由権に関するつぎの文の( )にあてはまる語句を下から選べ。  
日本国憲法は、不当に拘束されたり拷問を受けたりしないという(ア)の自由、思想や宗教を信じたり、学問や表現をすることに制限を加えられないという(イ)の自由、家柄や身分によって土地や職業を束縛されることはないという(ウ)の自由、この三つの自由権を保障している。ただし、これらの自由および権利は、他人の権利を不当に侵害しないよう、(エ)の福祉のために利用するよう定められている。

公共 精神活動 生活 経済活動 生命・身体

- (2) 社会権の考え方が世界で初めて明文化されたのは何という憲法か。
- (3) つぎの文は憲法第25条の一部である。この文を読んで、下の問いに答えよ。  
すべて国民は、健康で文化な( )の生活を営む権利を有する。  
① ( )にあてはまることばを書け。  
② この文は社会権のうち、何の権利についての文か。
- (4) 勤労は、憲法に保障された社会権の一つであるが、憲法の定める国民の義務でもある。ほかに国民の義務として憲法に定められているものを2つ書け。
- (5) 憲法に反して、差別や不平等は今もなお残されている。このうち、部落差別からの解放を求めて1922年につくられた組織は何か。
- (6) 国や行政機関に直接要望をうたえることができる権利を何というか。

④ つぎの各文ともっとも関係が深い人権を下から選び、記号で答えよ。

- (1) 1999年、情報公開法が制定され、国や地方公共団体が保有する情報の公開を請求できるようになった。
- (2) 結婚は、両性の合意によってのみ、自由に行うことができる。
- (3) 現在、公害や自然破壊は限られた地域のものではなく、世界的規模で対策が求められている。
- (4) 情報技術の急速な発達で、個人の情報が流出する危険が高まっている。
- (5) 満25歳以上の国民は衆議院議員に立候補することができる。
- (6) 刑事裁判で無罪になったときに、国に保証を求めることができる。

ア 自由権 イ 社会権 ウ 平等権 エ 参政権 オ 請求権  
カ 知る権利 キ プライバシーの権利 ク 環境権

① 【各3 — 30点】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	

② 【各5 — 25点】

(1)		(2)	
(3)		(4)	
(5)			

③ 【各3 — 33点】

(1)	ア	
	イ	
	ウ	
	エ	
(2)		
(3)	①	
	②	
(4)		
(5)		
(6)		

④ 【各2 — 12点】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	